

要 望 書

(平成28年12月20日)

自由民主党愛知県議員団
県土整備促進議員連盟

要 望 書

本県は、日本経済を牽引するものづくりの中心であり、2027年度開業予定のリニア中央新幹線のインパクトを最大限に生かすためにも、国際競争力強化に資する社会基盤整備を、ますます加速していくことが大変重要であります。

また、本県には、国内最大のゼロメートル地帯を始めとする低平地や土砂災害の危険が多く存在する山地丘陵があり、さまざまな自然災害に対する脆弱性を抱えております。

このような地勢的条件のもと、本年8月には台風10号により北日本を中心に甚大な被害が発生し、さらに9月の台風16号では本県内にも被害が生じるなど、多発する自然の猛威を目の当たりにし、県民の不安はますます高まっております。

こうした中、自然災害から県民の生命・財産を守るためにも、河川、海岸の整備を始めとした防災・減災対策をしっかりと進める必要があります。

一方、戦後の復興期から高度成長期にかけて集中的に整備された社会インフラが、耐用年数を迎えつつあることから、その対応が課題となっております。こうしたインフラの機能を引き続き健全に保つためには、施設の状態を的確に把握し、計画的な維持管理・更新に取り組む必要があります。

このように、本県の防災・減災力や経済力が強く求められている今こそ、社会基盤の整備に積極的な財源投入を図るべきであります。

平成29年度の予算編成に当たっては、県民の安全・安心を早期に確保し、県内の経済発展の促進を図るため、下記事項の実現に向けて特段の措置が講じられるよう強く要望します。

記

(道路関連)

- 1 道路ネットワークの充実及び道路交通環境の整備
- 2 効率的な物流を支えるとともに、災害時にも機能する広域幹線道路ネットワークの構築を図るため、名古屋環状2号線、三遠南信自動車道、名豊道路の早期整備や西知多道路の事業中区間の整備推進と未事業化区間の国による早期事業化
- 3 リニア・インパクトを広く中部圏全域に波及させるため、名岐道路など名古屋都市圏における道路ネットワークの早期実現に向けた国による調査推進
- 4 地域が真に必要なとする道路整備を計画的かつ着実に推進するための道路整備に必要な予算の確保
- 5 道路の安全・安心を確保するため、日常の道路の維持管理に加えて、高齢化する道路施設の長寿命化対策、橋梁の耐震化などの地震防災対策、及び事故危険箇所などの交通安全対策の推進に必要な予算の確保

(河川・砂防関連)

- 1 洪水、高潮、地震・津波、土砂災害対策の強化
- 2 河川改修の推進（多自然川づくりの継続実施）、河川・海岸施設の長寿命化対策や維持管理の充実に必要となる予算の確保
- 3 河川・海岸堤防等の耐震化及び高潮対策の推進に必要なと

なる予算の確保

4 土砂災害対策の推進に必要な予算の確保

(港湾関連)

- 1 港湾の国際競争力の強化に資するふ頭及び臨港道路の整備
- 2 港湾・海岸施設の耐震化等防災対策の推進に必要な予算の確保
- 3 港湾環境整備による交流拠点の充実に必要な予算の確保
- 4 港湾維持管理に必要な予算の確保

(下水道関連)

- 1 快適な水環境の創造及び循環型社会への貢献
- 2 流域下水道の整備及び計画的な長寿命化対策の推進に必要な予算の確保
- 3 下水道施設の地震対策の推進に必要な予算の確保
- 4 下水道資源のエネルギー利用の推進

愛知県知事

大 村 秀 章 殿

自由民主党愛知県議員団

県土整備促進議員連盟

会 長 小 林 功